

## 第 2 回 武蔵野市図書館運営委員会 議事録

日 時 平成 30 年 6 月 26 日（火） 17 時 00 分開会 18 時 00 分閉会

場 所 中央図書館 3 階視聴覚ホール

出席者 委員 7 名

赤羽委員、大津委員、桂委員、金子委員、北本委員、船崎委員、松山委員

事務局 9 名

鎌田図書館長、目澤プレイス副館長、柏倉吉祥寺図書館長、加藤課長補佐、前田課長補佐、森本課長補佐、秋庭係長、佐々木主事、須藤主事

傍 聴 0 名

## 【司会】

定刻となったので、第 2 回武蔵野市図書館運営委員会を開会する。

開会に先立ち、一点連絡をする。本会議は公開されており、定員を設けて傍聴を認めているが、本日は今のところ傍聴者はいない。まず、資料の確認を行いたい。資料の不足がある方はいるか。

では、今後の進行に関しては委員長の方をお願いしたい。

## 5. 議事

## 【委員長】

それでは次第に沿い、早速議題に入りたい。今日はこの後に基本計画の委員会もあるため、1 時間程度で終わらせられるようご協力いただきたい。

では、まず議題 1 「前回議事録の確認」である。事務局の方をお願いしたい。

## ★議題（1） 「前回議事録の確認」

## 【図書館長】

資料 1 をご確認いただきたい。前回 11 月に開催した運営委員会の議論の内容となる。今回の運営委員会でご確認いただければ、HP の方で公開したいと考えている。

## 【委員長】

本件について、何かあればご意見を頂きたい。

**【委員】**

2 ページの私の表現が、同じことを何度も繰り返し言っているため、削除して欲しい。書いてあることに異論はないが、同じことを何度も言っているためスッキリさせたい。「毎月1回」、「市がやっているいきいきセミナー～」を削除。「グループ学習室で読書会を行っている」という文に「グループ読書会を行っている」と「グループ」という文言を追加して欲しい。「それを始めてから～」の「それ」を「これ」に変更。「4年をむかえた」に変更。「毎月やっている」を削除。「～を受け、グループ読書会が皆の楽しみかつ生きがいになっている」と追記。それ以降は全て削除してしまっても構わない。内容的には変更はなく、中身をスッキリさせたい。

**【事務局】**

確認させてほしい。3 ページ目の「この市民公募を市の広報で～」以降は生かすという認識でよろしいか。

**【委員】**

それは生かして欲しい。

**【委員長】**

それではそれ以外には何かあるか。

**【委員】**

細かいことだが、1 点だけ。9 ページの一番下の百田尚樹さんの「なお」の字が違っているため、修正して欲しい。

**【委員長】**

以上でよろしいか。それでは修正し、公開することとしたい。

それでは次の議題にうつる。議題2「図書館の運営について」事務局にお願いしたい。

**★議題（2） 「図書館の運営について」**

**【図書館長】**

それでは資料2の図書館事業評価と資料3の図書館事業目標を続けて一緒に説明させていただく。

まず、資料2をお願いしたい。毎年度実施している項目であるが、現在改

定作業中の図書館基本計画に基づき、本委員会で議論いただいた 29 年度図書館事業目標について年度中の進捗状況と事務局による内部評価である。項目が多いため、かいつまんで説明させていただく。主に A 評価以外のものに関して説明する。

- 2 既存施設の整備・改修

「吉祥寺改修に関わる移管分の対応も含め、配置案に従って資料の移動を着実に進め、年度末に進捗状況の報告書を作成します。」との目標に対し、吉祥寺図書館リニューアル工事は予定通り完了したが、書庫の書架移動について、吉祥寺の仮置き本が残っているため、移動が中断していること等により、内部評価を B とした。

- 3 図書館業務システムの再構築、貸出・閲覧サービスの利便性の向上、一般利用者向けサービスの充実

「在住利用者のサービスを相対的に改善する取り組みについて、28 年度に実施した調査結果を踏まえ、対応方策について検討し報告します。」との目標に対し、現段階での対応が困難であることから、市内市外の利用者サービスのバランスについて、総合的な視点から引き続き検討することから、内部評価を B とした。

- 12 学校との連携協力

「学校からの情報を取り入れるために、アンケート調査及び選書会議を実施します。」との目標に対し、学校との選書会議について調整ができず、29 年度はアンケート調査のみとなったことから、内部評価を B とした。

資料 2 についての説明は以上となる。続いて資料 3 をお願いしたい。

こちらは現行の図書館基本計画、資料 2 に示した平成 29 年度図書館事業評価及び、一昨年度に本委員会でご審議を頂いた中長期目標を踏まえ、平成 30 年度の図書館事業に関する目標値を設定したものである。

こちらにかいつまんで説明させていただく。

- 2 既存施設の整備・改修

「書庫については、吉祥寺図書館からの移管資料の対応も含め、配置案に従って資料の移動を進めます。」とした。27 年度ですでに中央図書館

地下の書庫集密化工事は終了しており、すでに書架の総延長は限界まで来ている。

また、新たに中央図書館の施設改修について記載をしている。

- 3 図書館業務システムの再構築、貸出・閲覧サービスの利便性の向上、一般利用者向けサービスの充実  
前年度より継続検討となっている市民サービス低下に対する対応策について、引き続き検討する旨記載している。図書館基本計画策定委員会においても検討いただいているため、その議論の方向性も踏まえながら検討を進めていく。
- 4 利用者の安全性を高める施設の充実  
「運営形態の変更後も利用環境のレベルを落とさないよう指定管理者と緊密に連携し、安全の確保に努めます。」とした。  
吉祥寺図書館の指定管理化に併せ、従来よりも予算を増額し、警備体制を向上するなどすでに取り組みを進めている。
- 8 施設の管理・運営形態  
長期計画調整計画にも規定する中央図書館を中核とする図書館のあり方について次期計画策定作業にて検討を進めるとともに、吉祥寺図書館の運営について事業団と緊密に連携を図り、必要なミッションを次年度の協定に盛り込む。
- 9 多様な情報資料の蓄積  
国立国会図書館デジタル化資料送信サービスについて、導入済みの2館に加え、吉祥寺図書館での導入を行う。
- 11 他の図書館施設、行政部局、その他の機関等との連携・協力  
「吉祥寺図書館では商工会議所をはじめとした地域の関係各機関と連携し、様々な企画展示を行うスペース「きちとしょトピック」において、地域密着情報を発信していきます。」とし、本年度リニューアルオープンした吉祥寺図書館に新たに設置した展示スペースの活用を記載した。
- 12 学校との連携協力  
「学校からの情報を取り入れるために、アンケート調査及び選書会議を実施します。」とし、昨年度は開催できなかったが選書会議について目

標に掲げた。

- 14本に親しめる環境の整備

「昨年度の反省点を踏まえ、新たに作品作成のためのガイドを作成し、より良い作品が集まるように広報していきます。」とし、子ども図書館文芸賞についてレベルアップを図ることとした。

- 18シニア利用者に対するサービス

「30年度中に策定作業を実施する図書館基本計画の検討について、基礎調査におけるボランティアの活用意向状況も考慮し、計画案をまとめます。」とし、ボランティアの活用について計画に位置付けた。

簡単ではあるが、説明は以上となる。

**【委員長】**

まず、事業評価に関してやっていきたいと思う。Aというのは目安にあるように目標を達成し、一定の評価があったということで問題なくできたということであるが、Bというのが目標は達成したのだが、今後の課題が残ったということである。今、図書館の方からBに関して説明があった。これについて何か質問や不明点等あったらお願いしたい。

事業評価に関してはAは目標としたものが達成できたため問題ないと思われるが、Bや、今回はないがCに関しては色々と説明をお願いしている。

**【事務局】**

補足で説明をさせていただきたい。今委員長に説明いただいたが、本日追加資料で渡した図書館事業評価のA B Cの軸について、資料2の中の内部評価のA B Cなのだが、これらは記載しているとおおり、内部評価のような形で内部では、このような評価だろうと目安として出しているものである。実績や状況を見ていただいた上で本日議論していただきたい。内部評価が委員会評価に変わったものを提示するのでそのようなイメージで見ていただけたらと思う。

**【委員長】**

内部評価と委員会評価の欄があるのか。

**【事務局】**

委員会で決めた後に内部評価は内部的な資料になるため、委員会評価としてのみ出す形となる。

**【委員長】**

では意見や質問等あったらお願いしたい。

**【委員】**

次の委員会の時に最終的な評価が決定するということか。

**【事務局】**

その通りである。

**【委員】**

一市民として図書館を利用している側から見ると、評価するのが難しいという気がする。自分でAやBといえるような根拠がないため、図書館の運営に携わっている人たちは評価できるだろうが、外部の第三者からしたらそのような評価をすることは手に負えない。事務局がそう言うならそれに従うしかないと思う。

**【事務局】**

何か気が付かれるところで構わないのでご意見をいただければと思う。

**【委員長】**

何か特に疑問点があれば。

**【委員】**

セキュリティーの問題で、シルバー人材センターの巡回について。あれが目障りである。図書館で犯罪など起こるはずもなく、グループ学習室で読書会を行っているが、あそこがガラス張りのため、巡回員がしょっちゅう来ると気に障る。放っておいて欲しいと思う。セキュリティーの関係でぐるぐる回っているのはよいのだが、回りすぎではないか。もう少し違った監視方法があるのではないか。

**【事務局】**

委託としては巡回員であり、巡回をしてもらっている。図書館に来る方が

安心して来られるように巡回をしてもらっている。武蔵野プレイスなどは警備員を置いている。中央図書館の場合は、警備員ではなく、巡回員としてお願いしている。警備だと、巡回はあまりせず、頻繁にぐるぐる回るというものではない。警備服をきちんと着ているため、そのような意味では違う印象であると思う。図書館としては巡回のやり方等については考えながら、利用者の皆様が安心して利用できるよう努めていきたいと考えている。

**【事務局】**

30分～40分に1回程度まわるようになっている。30分たっても同じ荷物が放置されていたりすると職員に教えてくれたりしている。

**【委員】**

グループ学習室の一番奥に談話室がある。あそこは頻繁に見る必要があると思うが、グループ学習室の前は覗き込まずに素通りして欲しい。前はなかったと思うが、いつからやっているのか。

**【事務局】**

かなり以前からやっている。

**【委員】**

3～4年前からグループ学習室を使用しているが、前はそのようなことはなかった気がする。

**【事務局】**

やり方については、委託先とよく相談しながらやりたい。安全性の確保のために、ベストを着て巡回している。置き引き等は公共施設でよく起こるため、そのような事件の防止という面もある。また、利用者同士の喧嘩が発生してしまった時に間に入っていただいたりしたこともある。そのような良い効果も見ながら考えていきたいと思う。

**【委員】**

私もシルバー人材センターでサッカースクールの巡回員を行っている。私はなるべく目立たないようにしている。セキュリティの観点から巡回員を置いているのは決して悪いことではないが、巡回の仕方で若干利用者にとって目障りな点があるように思う。

**【委員長】**

他になにかある方。

**【委員】**

7の「職員の人材育成」について。研修をやりましたと書かれているが、研修の対象者は誰か。

**【事務局】**

職員と嘱託職員が対象である。中央図書館では3階のレファレンス席に座る職員を対象にした研修もあるが、職員と嘱託職員を対象にした研修も多く実施している。

**【委員】**

今の研修に関して。外部から講師を呼んだりもしているのか。

**【事務局】**

国立国会図書館のデータベースの研修の際は国立国会図書館の職員の方に来てもらったり、契約データベースの場合は契約会社の方に来てもらったりもしている。また、障がい者施設の職員を呼び、知的障がい者や聴覚障がい者の方にはこのような対応をしましょうといった研修も行った。

**【委員】**

3階のカウンターに出られる方というのは、昔は全職員がローテーションで出ると聞いたが今はどうなのか。

**【事務局】**

正職員は全員出る。事務嘱託という枠の嘱託も出ることになっている。その方は正規職員とともに研修も受けている。

**【委員】**

内部評価がもう出てしまっているのですが、こちらで何を言えばよいのかという感じではあるのだが、一つつつこんでみようかと思う。3が内部評価ではBになっているが、目標設定の部分で「次期システム」というのは図書館のシステムということか。次期の入替はいつか。

【事務局】

再来年度に入れ替わるので、来年度には仕様をかため、業者を選定する形となる。

【委員】

昨年B評価で、今年目標を見ると同じように「次期システム選定について」という記載があるが、これは難しいものなのか。早めにやろうとしているがなかなか決まらないので、今年もなんとかやって間に合うというスケジュールということなのか。

【事務局】

システム選定に関してはB評価とは思っていないが、在住利用者のサービスを相対的に改善する取り組みができなかったこともあり、3についてはBという評価としている。

【委員】

私はむしろCかなと思ったりしたのだが。つまり、全然決まっていない、まだ何も進んでいないという意味合いではCかと思った。

【事務局】

システムも5年目ごとにいきなり選定するのではなく、現在はこんな性能の機種がある、もう少し待つとこのような性能のものが出る、などといったことを常に情報収集し検討材料としている。

【委員】

それはメーカーの情報ということか。

【事務局】

そのとおり。研修会に行ったり、様々な情報を調べたりしている。

【委員】

この先WEBがどうなる、どこまでできる等、メーカーに対し交渉のしどころになる部分であると思う。技術的な情報も大事だと思うが、ちょうど計画策定の時期でもあるので、そのあたりのことはよろしくお願ひしたいと思う。6の危機管理部分で今回防犯が出ているが、災害対策についてはどのような取り組みを行っているのか。

【事務局】

4が防災訓練なのだが、昨年度は初期消火と避難誘導を行った。

【委員】

毎年やっているという訳ではないのか。

【事務局】

毎年行っている。消火器の使い方等も行っている。

【事務局】

補足で。今説明があったとおり、防犯的な面と防災的な面を含めて毎年行っている。防犯的な面のメニューは毎年同じようなことをやっている。防災的な面としては、消火をしたり、図書館の消防計画はどのようになっているかの座学をやったりしている。消火訓練に関しては、昨年度の夜間開館時に前庭で火災があり、それを初期消火したという事例があった。そのような事例も踏まえ、実際のアクションがあるような訓練も入れていった方がいいだろうということで行っている。

【委員長】

消防署などと連携をしているのか。

【事務局】

消防署と連携をして訓練も行っており、また防犯の面に関しても警察からの指導もいただきながらやっている。

【委員】

防災訓練に関して。利用者は全く関係なく行っているのか。職員のみでやっているのか。

【事務局】

防災訓練として実施しているのは何かあった時に職員がどう誘導すべきかなどと行っている。利用者への訓練というものは今のところ行っていない。

【委員】

災害時にここを通りましょうなど、家具等が倒れた時の注意はあってもよいと思う。災害が起きた際は利用者の方はパニックになってしまうと思うの

で職員の方への訓練はもちろんだが、図書館だったらこうしようという情報があればよいのかなと思う。

**【事務局】**

震度3以上の地震があった際にはすぐに各階に内線電話をかけ、エレベーターで人が閉じ込められていないか、ぐるっと館内を回り、「余震があるかもしれないため、本棚からは少し離れてください」、「怪我をされた方はいらっしゃいませんか」と言いまわるということは行っている。

**【委員】**

3.11の東日本大震災の時は図書館の被害はどうだったのか。

**【事務局】**

金曜日で休館日だったこともあり、利用者に被害は出ていない。また、市内の図書館では本の落下はなかった。3階の引き出し型の地図コーナーの引き出しが開いていた程度であったと聞いている。

**【委員】**

書架の棚板が後ろに少し傾いているといったようなことをしているのか。

**【事務局】**

そのようなことはない。

**【委員】**

TVで見たのだが、大阪の人たちが地震にあった時に地面に避難所まであと〇mといったような文言が歩道に書いてあったのが役に立ったそうだ。図書館も子どもが多くいる場所であるため、例えば、図書館の絨毯に矢印や簡単な文字で避難経路がプリントしてあったら、誘導される側もする側も分かりやすくなり便利ではないかと思った。

**【委員】**

地震のときはむやみに外に出ると逆に危ないので、建物がしっかりしているのであれば図書館の中にいた方がいいのではないか。

**【委員】**

例えば本棚からは離れましょう等、パニックになった時に下を見て一歩、

壁から外にさがる等の注意喚起はできると思う。

**【委員】**

3.11の時などもガラスの割れはないのか。

**【事務局】**

割れていない。大きなガラスには飛散防止フィルムが貼ってある。

**【委員長】**

議題に戻る。事業目標がまだ残っているので、事業評価に関しては以上でよいか。では、事業目標について質問等ある方はいるか。

12の学校との連携協力について。「学校からの情報を取り入れるためにアンケート調査と選書会議を実施します」とあるが、選書会議というのは誰と誰が行っているものなのか。

**【事務局】**

学校の先生と図書館の職員で行う。

**【委員】**

先ほど他の委員からも指摘があったが、次期システムとは何のことか、中の人は分かっても、外の人には全く分からない。次期システムの中に予約のシステムやWEBが入っているのかどうかなどが分からない。また、現在のシステムが何年に入り、入替がいつなのか等書いてくれるとありがたい。

**【委員長】**

ではそこは工夫をしていただきたい。他に何かあるか。

**【委員】**

2について。「適切な時期に中央図書館の施設改修について検討する」とあるが、いつなのか分かりづらいため、一応明確に目標年度を入れた方が分かりやすくてよいのではないかと思う。

**【委員】**

12について。「新図書館システムを活用した新たな展開について関係部署と継続的な協力～」とあるが、これは28年度に入れたシステムという認識でよろしいか。その下のシステムの更新においてというのが次期システム

ということか。

**【事務局】**

その通りである。

**【委員】**

そうすると、システムの更新において今あるものよりもさらに連携を可能にすることを模索するということか。

**【事務局】**

そのこととシステムのことは結びつかない。アンケートや選書会議は人との会議であり、システムの方は学校のシステムと図書館のシステムをある程度システムを介して連携させることができないかということである。

**【委員】**

では、12の中長期目標のうちの上側だけのことについて30年度の目標はあるということか。

**【事務局】**

そのとおり。

**【委員】**

学校には、いつもまとめて貸出をさせてもらっており、データが蓄積されているため、このような本が必要なのではないですかと言ってもらえ、大変ありがたい。また、アンケート調査や選書会も学校から代表が出て行って図書館の人たちと話をさせていただけるのはとてもありがたいと思っている。システムのことに関しては特に目標は設定していないということか。

**【事務局】**

中長期目標では、システムに関しての30年度の目標ははっきり書いていない。システムに関してはここでいうよりは図書館全体の中で検討していく中でそれが可能かどうかを考えていかなければならないということもある。30年度の目標としては書いていない。

**【事務局長】**

3のシステムの方にもそういった資料を出させていただく。

【委員長】

他に何かあるか。

【委員】

先ほど委員が言っていた新図書館システムとは各学校が持っているシステムのことか。

【事務局】

市内3館の図書館で使用しているシステムのことである。

【委員】

各学校と図書館システムが繋がっているということか。

【事務局】

繋がってはいない。各学校の図書館システムは繋がっていることは繋がっているのだが、それを活用して相互貸借のようなことは全く行っていない。基本的には各学校で独立しており、各学校ごとに使用しているという形である。

【委員】

それは本の貸出等に使用するシステムのことか。

【委員】

そうである。学校図書館の中の本の貸出や蔵書の点検を行うシステムである。

【委員】

それはそれぞれの学校が持っているものか。

【委員】

各学校が各予算で必要な分だけ購入している。質問したのは、結局そのような図書館システムと学校システムの連携を考えているのかということである。

【事務局】

考えたいとは思っているのだが、なかなか難しい課題も多い。学校は学校

でまた別に市の教育部指導課が担当しており、学校独自のシステムを武蔵野市の小中学校は入れているので、それを学校ごとに活用しているという状況である。

**【委員】**

それを私たちは見ることはできないのか。

**【委員】**

学校の中だけしか見ることはできないものである。それが広がっていってしまうとどうなってしまうのかという心配もある。

**【事務局】**

機械を繋げたからといってすぐ物の行き来ができるようになるわけではない。結局やるのは人であるため、人としての組織がきちんとできていないと、システムだけ繋げてあまり意味がない。そのため、システムを繋げることは一つの方法ではあるが、それだけでは機能しない。それも含めて考えていかねばならないというところでなかなか難しい。

**【委員長】**

他に何かあるか。

**【委員】**

11 の図書館と行政部局との繋がりについて。少しずつ広がってきていると思う。本日バスに乗って図書館まで来た際に、バスの中に市の開催しているイベントのポスターが貼ってあった。そのようなイベントに図書館としてタイアップ（資料提供や情報提供）したことなどは今までにあるのか。

**【事務局】**

吉祥寺美術館の展示に合わせて関連するものを展示したり、ふるさと歴史館の展示に合わせて図書館から本を提供したりしている。

**【委員】**

もっと市のイベントと積極的に図書館が協力できるようなものはないのかなと思っている。吉祥寺図書館が新しくなったこともあり、地域に密着して連携した新しい展開をできたらよい。同じ行政内で毎回連携しよう繋がるという項目はあるのだが、もっと働きかけていくことはできそうな雰囲気な

のか。

#### 【事務局】

吉祥寺図書館のリニューアルにともない、吉祥寺の地元情報を発信していく機能として、“きちとしょトピック”というコーナーを作った。地元の商業者とも密に連携し情報交換をするため、先日も吉祥寺の活性化協議会に参加してきたところだ。先ほどの美術館との連携という点においても、吉祥寺図書館にコーナーを設け常時関連した展示を行っている。また、地元では多年にわたりアニメワンダーランドというイベントを開催してきており、今年も9、10月に開催されるが、それにも関わっていく予定である。アニメワンダーランドでは毎年短編アニメのコンテストをやっているのので、過去の入賞作品を日替わりで上映をしていく予定である。吉祥寺図書館もまちの賑わいを作るために、今後積極的に地域の活動に関わっていく予定である。

#### 【委員】

そのような話を聞くことができ、よかった。

武蔵野でやっている14「本に親しむ環境づくり」について。子ども図書館文芸賞は本当に素敵な取り組みであると思っている。これがどれほど認知度があるのか。もっとPRするとよいのではと考える。次の計画の方にもうまく情報の発信という点でも盛り込んでもらいたい。文芸賞は認知度としてはどの程度なのか。

#### 【事務局】

文芸賞は学校の宿題のようになりつつあったため、そうならないように図書館の本を読んでもらい、図書館の事業としてやっていきたいという思いがあり、2年前にリニューアルを行った。市内の小中学生が対象のため、学校や市内にポスターを貼ったり、前回の入賞作品を図書館の館内で見ることができるようにした。その展示のおかげで、絵の応募は増加した。そのような部分での広報は行っている。対象が市内の小中学生ということもあり、市外でのPRは行っていない。

#### 【委員】

そのような取り組みがWEBでもっと発信されるとよい。武蔵野市はよい取り組みが多いので、それをもっと検索してヒットするようにしてほしい。

**【委員長】**

ここで時間がきてしまった。5分ほど休憩をし、策定委員会に移りたいと思うのだが、いかがか。もし次回までに疑問点等あった場合は事務局へ言ってもらいたい。

では、事務局には今回出た意見を手直しし、次回までに提出していただきたい。

**【事務局】**

本日は時間が短いこともあり、意見をいただくことがなかなか難しいため、意見等ありましたらメールで送っていただければ反映させたいと思う。

**【委員】**

いつまでに意見を送ればよいか。

**【事務局】**

意見のある方は1週間から2週間の間に送っていただければと思う。

**【委員長】**

ありがとうございました。

それでは今回の議論を踏まえ、事務局で修正し、次回修正後の案について審議することとしたい。

予定された議事は以上となる。

**【事務局】**

今後の日程についてはまた策定委員会の後にお話しさせていただきたい。

**【委員長】**

それでは5分程度休憩し、策定委員会の方へうつりたいと思う。